

# INFORMATION & OTHERS

## ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね!

5月の第2戦に続き今シーズン2度目の全日本。もちろん今回初めて観戦に来た方もいらっしゃると思います。モータースポーツではモトクロスだけの横一線スタート、全国そして世界から集まったトップライダーたちのスピードとテクニク、ジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでください。

1コーナーをトップで立ち上がること、それをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。応援するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るように。

**オフヴィイはココを見る!**

全日本選手権V7チャンピオン 山本 鯨が教える

こんにちは山本 鯨です。前回HSR九州大会のIA2に勝って、各クラスのタイトル争いもいよいよ佳境を迎えました。残りたったの2戦と、このクラスのライダーたちも、それぞれ色んな思いを抱えてレースに臨まれているハズです。熱い闘志や独特の緊張感、目の付けども面白いと思います。ぜひこのオフヴィイを見ながら、一緒に盛り上げていきましょう。

前回は、オフヴィイは、高底差もないし他のどのコースよりも外周を回すのが得意なライダーを見たいと思って、今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。

このオフヴィイは、高底差もないし他のどのコースよりも外周を回すのが得意なライダーを見たいと思って、今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。今度こそオフヴィイを付けてもらいたいです。

最初、土煙を巻き上げて走るモトクロスならでは迫力を身近に感じてもらえないと思います。時代はEパワーに大きく方向転換しようとしています。エンジン、だっただけのことエンジンの全開サウンドを耳に焼き付けてください。

そしてスタート。ゲートダウンへの反応と1コーナーへのダッシュが結果を大きく左右するモトクロス。ゲートインの順番は予選の成績順。基本イン側が有利ですが、あまりインに集中するとラインが塞がれて、アウトからスルスル抜け出す場合もあります。ちなみにここオフロードヴィレッジは、日本で唯一メタルグリッドと呼ばれる鉄製のグリッドが使われています。

次のポイントはマシンとゼッケンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。でもよく見るとオレンジのKTMと白のハスクバーナが混じっていたり、GASGASというメーカーはホンダと同じ赤い外装だったりします。

ゼッケンは白地がIA1、黒字がIA2、青がIB...なんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラーなんです。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーはより速いと覚えてください。

あれれ、IA2には02~09のライダーがいますね。彼らは今年IAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。新入生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が

出ちゃうんじゃないかってくらいガチガチになってるハズ。見かけたら落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

スタートで飛び出して来たぞとか後ろからすごい勢いで追いつけてきたとかジャンプでバイクを捻ったぞとか...気になるライダーがいたらプログラムをチェック。全員を見ようとする誰がどこでどれがなにやら分からなくなってししまうので、慣れるまでは誰か一人に的を絞って観戦すると、スタートからチェッカーを受けるまでレースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかと思って、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

## 感染対策しながらの観戦マナーを守って楽しんで!

今シーズンからは一般観客のバンドック入場制限がなくなりました。とはいえ新型コロナウイルスはまだまだ油断できない状況。全国から関係者が集まる大会だけに、今回も咳エチケットはもちろん、ソーシャルディスタンスなど感染対策に留意しながらの観戦をお願いします。その上で出店ブースでの食事やお買い物など楽しんでいただければと思います。

大声で応援出来ないなんてつまらないと思ってる方、それは正しい意見です。ライダーだって応援があるから頑張れるんです。応援はしましよ。でもどうやって?!

お手元のスマートフォンで右のQRコードにアクセスしてみてください。上が今年の国別対抗戦MXoNアメリカ大会の選手紹介セレモニー、下が2016年イタリア大会です。

ヨーロッパやアメリカのファンはとにかく鳴り物が大好き。バババ〜って鳴っているのはチャホン。ガーガーうるさいのはなんとチェーンソーです(笑)。日本だったら太鼓とかメガホンを打ち鳴らしたらライダーに頑張れの気持ちが伝わるし楽しそう。もちろん応援フラッグやタオルを振るのは基本中の基本です。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位や

タイムをリアルタイムで見ることが出来ます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずですよ。

土曜日は各クラスの練習走行、予選、LMXとIB Open Heat1 決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ずっとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービースプースにも出かけてみてください。

土手側に並んだ各社出店や展示ブースも必見です。転倒などアクシデントが多い競技なのでライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なども出店ブースでぜひご覧になってください。余裕があったらコースを挟んで反対側のバンドックにも足を運んでください。

春とは違って逆回りになったオフロードヴィレッジ。2コーナーの先には新ルートが新設されました。1度はぐるっと歩いてみて、勝負のポイントとライダーに声援が届く最適な観戦ポイントをぜひ見つけてください。

## 今シーズンはLINEでお届けMXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MIXING」ですが、今年はLINE公式アカウントを用意してみました。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。ぜひ登録ください。

## 編集後記

今回注目ライダーインタビューに登場してもらったIA2クラス新チャンピオンのジェイ・ウィルソン選手。取材中に「こんな仕事もさせてもらったんだ。」と教えてくれたのが右上の動画です。電動アシストMTB YAMAHA YPJ-MT Proのプロモーションムービー。これメッチャ楽しそう。乗ってみたくありませんか?! 必見です!!

MXING & MC Square 木田 淑



トリプルヒート制で行われた前回九州大会、開幕戦に続く鮮やかなハーフエクト勝利で今季7勝目をマークした#2富田俊樹が最高峰クラス初のタイトルに挑む Photo/K.Kida

制作・発行 / MC Square 木田 淑  
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409  
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174  
E-mail: kida@mixing.com  
HP:http://www.mixing.com

出力・印刷 / 東京カラー印刷株式会社  
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27  
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174  
HP:http://www.tccp.co.jp  
全日本モトクロス選手権大会毎発行 無料

## PREVIEW-Off Road Village

**D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2022 第6戦関東大会は、10月29~30日に埼玉県川越、上尾の両市に跨るウエストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。J.ウィルソンが全勝で早々とタイトルを決めたIA2クラスに続き、IA1クラスでは富田俊樹が国内最高峰クラス初の栄冠に王手をかけて今大会に臨む。IB Openもタイトル決定の可能性大。その一方で大混戦のレディスクラスなど見どころ満載の今大会。佳境を迎えた熱き戦いのドラマを見逃すな!!**

**マナーを守って楽しく観戦しよう!**

- 1.入場時には検温と体調チェックに協力を
- 2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
- 3.声援+フラッグや拍手で応援しよう!
- 4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

## 国内最高峰クラス初の戴冠へ ついに王手をかけた富田俊樹

昨シーズン国内最高峰クラス5度目のチャンピオンに輝くと同時に突如引退した山本 鯨(ホンダ)と最後の最後までタイトルを争った富田俊樹(#2/ヤマハ)が新たな歴史を開く。

4月にHSR九州で行われた開幕戦をパーフェクト優勝で飾った富田。続く関東大会では星野優位(#8/ヤマハ)と能塚智寛(#3/カワサキ)、第3戦SUGOでは大城魁之輔(#22/ホンダ)、第4戦近畿大会では下田 丈(#30/カワサキ)に勝利を許したものの、富田はここまで12ヒートを戦って7勝をマーク、表彰台を逃したのが僅か1ヒートのみという圧倒的な強さでタイトル争いをリードしてきた。

ランキング2番手に付ける能塚との差はすでに77ポイント。逆算すると今大会の第1ヒートで富田が能塚との差を+4 広げればその時点でタイトル決定。仮に能塚が先着しても、富田に大きなアクシデントが起きない限り、第2ヒート終了時点で富田のタイトルが確定する。

どんなレース展開で富田が栄冠を手にするか、最高峰クラスの戦いにまずは注目して欲しい。もちろん富田を追ってきたライバル

たちも意地を見せたいはずだ。ランキング3番手の渡辺祐介(#4/ヤマハ)、怪我から完全復活ランキングも4番手に再浮上してきた大城、ベテラン小方 誠(#5/ホンダ)や大倉由揮(#23/ホンダ)、大塚豪太(#7/ホンダ)、内田篤基(#25/カワサキ)、このコースを誰より得意とする地元の星野、小島庸平(#6/ホンダ)や星野裕(#13/スズキ)も打倒富田と勝利を狙っている。スタートから一瞬たりとも目を離さない、国内トップライダーたちによるプレミアムバトルを心ゆくまで楽しんで欲しい。

## 連勝Vに挑むJ.ウィルソン その快進撃を止められるか!?

出場選手平均年齢が20代前半と若手中心で争われるIA2クラスは、今季全日本にフル参戦するオージーライダーのジェイ・ウィルソン(#16/ヤマハ)が日本人ライダーを完全に圧倒。開幕から9ヒート全勝で前回HSR九州に臨んだジェイは、連勝記録を11に更新して早々とタイトルを決めて見せた。

新チャンピオンとして残り2戦5ヒートをジェイがどう戦うか。今大会のIA2クラスはトリプルヒート制で行われるため、ジェイの快進撃を止めるチャンスは十分にある。ランキング2番手の浅井

亮太(#21/ヤマハ)、これに続く17歳の柳瀬大河(#10/ホンダ)、中島 激也(#5/ヤマハ)、鈴木英喜(#9/ホンダ)や西條悠人(#7/カワサキ)クラス最年少16歳の田中淳也(#05/ヤマハ)らの躍進にも期待したい。

## 小野の連勝から一転混戦へ 久保が首位に浮上したLMX

2年連続チャンピオンとして今シーズンの全日本で唯一のエースゼッケンを掲げる川井麻央(#1/ホンダ)。しかし前半戦は川井のチームメイト小野彩葉(#4/ホンダ)が開幕から3連続トップフィニッシュと大ブレイクを果たす。しかし小野は、第3戦SUGO大会のレース後審議で1順位降格のペナルティを受け、ここから一気に流れが変わる。土日2ヒート制で行われた第4戦近畿大会では、地元の久保

な(#3/ホンダ)と本田七海(#2/ヤマハ)が優勝を分け合い、久保が1ポイント差まで急接近。勢いに乗った久保は前回九州大会で今季2勝目をマークし、小野を逆転しランキングトップに浮上した。

悲願の初タイトルへ久保がリードを広げるのか、それとも小野、本田、川井が巻き返すのか。ここに楠本菜月(#5/ハスクバーナ)や畑尾樹璃(#27/ホンダ)がどう絡んでくるか。過去に例のない大混戦となったレディスクラス。最後までつれそうな熱い戦いに注目して欲しい。

またIB Openクラスでは西岡蒼志(#13/ヤマハ)がタイトル決定に挑む。IA昇格のボーダーライン争いも正念場。ジュニアやチャイルドクラスにもぜひ注目。公式プログラムでゼッケンやマシンの色、出身地などをチェックし、地元ライダーやルーキー選手には特に温かい応援を送って欲しい。

**D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2022スケジュール**

|     |         |           |                   |
|-----|---------|-----------|-------------------|
| 第1戦 | HSR九州大会 | 4月9~10日   | 熊本県 / HSR九州       |
| 第2戦 | 関東大会    | 5月14~15日  | 埼玉県 / オフロードヴィレッジ  |
| 第3戦 | SUGO大会  | 7月16~17日  | 宮城県 / スポーツランドSUGO |
| 第4戦 | 近畿大会    | 9月10~11日  | 奈良県 / 名阪スポーツランド   |
| 第5戦 | HSR九州大会 | 10月 8~9日  | 熊本県 / HSR九州       |
| 第6戦 | 関東大会    | 10月29~30日 | 埼玉県 / オフロードヴィレッジ  |
| 第7戦 | MFJ-GP  | 11月12~13日 | 宮城県 / スポーツランドSUGO |

**D.I.D 全日本モトクロス選手権 第6戦 関東大会 開催おめでとうございます。**

左のQRコードは、今大会のライブタイムングリッドとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。